

トピックス **ぶらす**

12/14

民俗芸能と郷土料理で親睦を深め合う

登米市国際まつり（市国際交流協会主催）が12月14日、迫公民館で行われ、市内在住の外国人や国際交流協会会員など約200人が参加しました。会場ではシンポジウムやクリスマスパーティーなどが開催され、日本語講座受講生による日本語でのカラオケなどが披露されました。参加者は、民俗芸能や郷土料理などで交流と親睦を深めていました。



▲日本語によるカラオケを披露する参加者の皆さん

1/2～9

海を越えて太鼓で交流

太鼓という日本の伝統楽器の文化交流や親善を図るため、米山丸山太鼓の子どもたちが1月2日から9日まで、イギリスのエクサター市とエクスマス市を訪問し、学校訪問や太鼓の発表会を通して交流と親睦をしました。異国での太鼓の発表会やホームステイによるイギリスの体験は、子どもたちにとって忘れられない思い出となりました。



▲学校を訪問し演奏を披露する米山丸山太鼓の皆さん

1/14

冷え込みを吹き飛ばす熱気

正月飾りを焼いた火にあたり、健康を祈願する伝統行事「佐沼どんと祭」が1月14日に開催されました。祭りでは企業や若者など125人が参加しての裸参りも行われ、羽黒神社から津島神社までの約500mの佐沼大通りを行進し、神社境内の正月飾りに点火しました。参拝者は燃える御神火に手を合わせ、今年1年間の無病息災などを祈りました。



▲たいまつを掲げて商店街を歩く裸参りの参加者

1/14

登米市産子牛399頭が初競り

登米産牛の子牛市場初競りが1月14日、美里町のみやぎ総合家畜市場で開催されました。競り前には、布施市長が年頭のあいさつを行い生産農家を激励しました。競りには、JAみやぎ登米分として399頭が上場、また子牛ブランド「とめ牛」は21頭が上場され、最高値は1頭709,000円と幸先の良いスタートとなりました。



▲今年も、市場での登米産牛の活躍が期待されます

石越で冬のまつり「どんと祭と花火大会」
冬の夜空に1,000発の花火

石越冬のまつり・どんと祭と冬の花火が1月14日、石越総合運動公園を会場に開催されました。当日は、伍十瀬神社で家内安全や商売繁盛などを祈願する神事が行われた後、どんと祭の種火となる御神火が会場に運ばれ、古守礼のたき上げが開始されました。会場内の特設ステージでは、和太鼓演奏やよさこいの披露、歌謡ショー、縁起福もちまきなどがあり、雰囲気盛り上げました。祭りの目玉である花火大会では、さまざまな願いが込められた約1,000発の花火が澄みきった夜空に大輪の花を咲かせました。



▲会場では太鼓やよさこいなどが披露され、祭りに花を添えました



▲駅利用者に啓蒙用品を配布して地域防犯をPRする参加者

豊里で年末街頭防犯パトロール
安全で安心な街づくりを

年末街頭パトロール（豊里町防犯協会主催）が、12月18日に豊里地区内で実施されました。この取り組みは、地域住民と協力して年末の防犯を呼び掛けようと毎年年末に実施されており、町内会の交通防犯部長や小中学校PTA会長など17人が参加しました。参加者は防犯ジャンパーを着用し、駅やコンビニなどの人が集まりやすい場所や公園周辺の暗がりなどを重点的にパトロールしました。JR陸前豊里駅では列車に乗り降りする人たちに啓発用ティッシュを配布し、年末の犯罪防止を呼び掛けました。

南方でミニ門松制作・配布事業
手作りの門松に願いを込めて

南方地区民生委員児童委員協議会（日下雄喜会長）では、同協議会内の企画研修部（高橋善市部長）を中心に、平成14年からミニ門松を自費で手作りし、町域内の高齢者世帯や独居老人世帯に配布しています。これは、この門松で「元気で明るい正月を迎えてもらえるように」と、民生委員・児童委員、主任児童委員が心を込めて制作しているものです。この作業は多くの時間と手間のかかるものですが、部長を中心として全員で協力し、同協議会の事業として定着させていこうと頑張っていました。



▲願いを込めながら、全員で協力してミニ門松を制作しました